

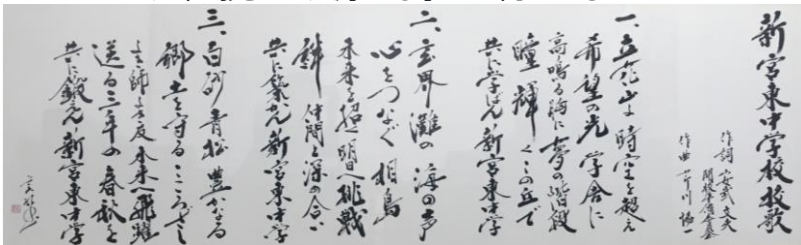
東風 HARUKAZE

平成 3 1 年 4 月 2 5 日発行

C S通信 1 号で「子どもを育てるパートナーとして、活気溢れる生徒の様子を…」と書かせていただきました。下にお示ししている写真は、新宮東中の校歌です。現在、ニューヨーク等でご活躍中の書作家 中島 美紀 先生（東小でも教鞭を執られてありました）に書いていただいたものです。校歌のちょうど真ん中に位置する、心をつなぐの「つ」が、大きくしなやかな線で書かれていたり、また「輝」「絆」「郷」が力強く書かれていたりしています。新宮東中で大切にしていきたいことが、中島先生も大好きな字だと伺いました。

生徒の、そして故郷“新宮”の輝く未来のために、地域・保護者の皆さまとの「つながり」「絆」を大切に、パートナーシップの関係を構築したいと考えております。

70 数年、新宮中で歌われてきた「共に学ばん」「共に築かん」「共に鍛えん」ことを根幹に、東中の新たな文化と伝統を築くため、下記の教育理念、校訓の元、コミュニティ・スクールとしての教育活動を行って参ります。



《教育理念》

生徒、地域、保護者、教職員が「共に学ぶ中学校」「共に築く中学校」「共に鍛える中学校」

《校訓》

学（がく：知） 絆（はん：徳） 鍛（たん：体）

《生徒と教師が共に育む資質・能力》

学（がく：知） 創造性 協働性 課題対応能力
 絆（はん：徳） 高潔性（インテグリティ） 多様性 人間関係形成・社会形成能力
 鍛（たん：体） 公益性 回復力（レジリエンス） 自己管理能力

国際化や情報化が進展する社会で、最も大切な資質の一つがインテグリティであると言われる。日本語では、「誠実であること、素直であること（高潔性）」と訳されます。これは新宮町の子ども達の強みでもあり、今後さらに伸ばしていきたい資質であると考えています。私たちは、挨拶や掃除の場面にその姿がよく現れると考えており、生徒と教師が共に育んでいくことを目指しています。地域やご家庭で、下の写真のような子ども達の姿が見られたときは、ぜひお褒めの言葉をお願いいたします。



いつも自然な笑顔で爽やかに挨拶をしてくれる文化委員長です。教師もお手本にしたいほどです。



「自分の心を磨くように磨く」ことを大切にしている東中の掃除です。

「碎啄同時（そったくどうじ）」

三年生のリーダーや教師がよきお手本となるよう率先垂範を心がけています。

（はるかぜ返信欄（担任にご提出ください。必ず校長まで届きます。封筒に入れていただいてもかまいません。）

生徒氏名

（ 年 組） 保護者氏名